

**セカンドブースター (パワステブースター)****重要**

この度は、セカンドブースターをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

以下の内容につきましては、交換作業着手前に必ずご確認頂きたく、宜しくお願い致します。

**交換作業時のご注意**

■各部ボルトの締付けは各メーカーの指定トルクをご確認下さい。

■パワステオイルは各メーカーの指定オイルをご使用下さい。

■リザーブタンク、ストレーナー、オイルラ (図1)

インのスラッジを除去する為、必ず全量オイル交換をして下さい。リザーブタンク内の汚れが酷い場合は取り外し洗浄して下さい。

また、オイルフィルターを使用している車両は必ずフィルター交換をして下さい。

(図1参照)

■エアー抜き作業開始はリザーブタンクにオイルを補し、エンジンは始動せずジャッキアップし、ハンドルを左右に切り、リザーブタンク内の気泡が消えるまで繰り返し行って下さい。

■エンジンを始動させる際はリザーブタンクにオイルが入っていることを確認して下さい。

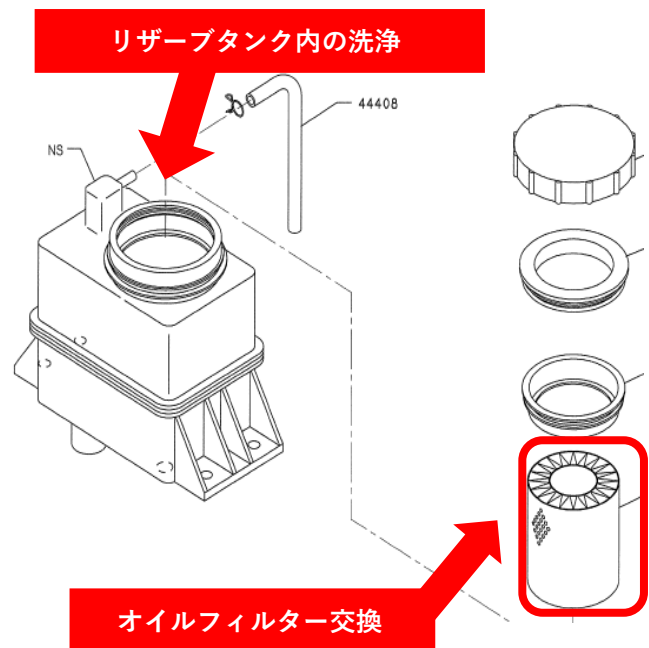
■エンジン始動後、アイドルの状態の前輪を着地させステアリングホイールを左右のナックルストッパーに当たるまで数回静かに切り返し、オイル量に注意し油面が下がったら補充して下さい。

■接続の高・低圧ホース劣化、エアーの吸込みがないことを確認して下さい。

■ストッパーに当たった状態でステアリングホイールを保持しないで下さい。

■作業後は付近に付着したオイルを清掃し、各部のオイル漏れを確認して下さい。

■返却の故品は同封のビニール袋へ入れて返却して下さい。



## トラブルシューティング

作業完了後、よくあるトラブル事例を記載致しました。もし、以下のような現象が発生した場合は、お手数ですが、もう一度ご確認の程、宜しくお願い致します。

現 象	原因と対処方法
オイル漏れをしている。	交換時漏れ出たオイルが本体に伝わり、オイル漏れと見間違える場合がありますので、再度清掃してからご確認下さい。
エアー抜きが完了しない。 又は異音が発生する。	タイヤ接地状態で <u>油温が上昇するまでハンドルを左右に切り返し、エンジン停止後5分程放置して下さい。</u> それでも異音、エアーが止まらない場合は、車両側のオイルラインからエアーを吸っている可能性も考えられます。パイプ、ホースのつぶれ、亀裂、劣化等がないことをご確認下さい。
ハンドルを切ると異音が発生する。(1)	ハブベアリングに異常があると、ハンドル操作時に異音が発生する場合がありますので、ハブベアリングの点検をお願いします。
ハンドルを切ると異音が発生する。(2)	リザーブタンク内、オイルラインのスラッジ・汚れを確認し、汚れている場合はオイル交換、洗浄をお願いします。 オイルフィルター付き車両については、新品フィルターと交換して下さい。(図2参照)

図2